



インターフェイス

ここでは、次の内容について説明します。

- [インターフェイス \(1 ページ\)](#)
- [インターフェイスグループ \(15 ページ\)](#)

インターフェイス

[インターフェイス (Interfaces)] オプションは、スイッチで検出されたすべてのインターフェイス、仮想ポートチャンネル (vPC) 、およびデバイスに存在しない目的のインターフェイスを表示します。

次の機能を使用できます。

- ポート チャンネル、vPC、 Straight-through FEX、 Active-Active FEX、 ループバック、 および サブインターフェイスを作成、展開、表示、編集、および削除します。



注

• 次の機能は、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I4(8b) および 7.0(4)I4(x) イメージを使用したスイッチのブラウザフィールド移行ではサポートされていません。

- X9500 ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチ以外のスイッチでの FEX
- AA-FEX

FEX のプラットフォーム サポート については、プラットフォームと NX-OS のマニュアルを参照して、機能の互換性を確認してください。

- ファブリック内リンクやファブリック間リンクなどのファブリックリンクに関連付けられているインターフェイスを編集するには、[リンクに関連付けられたインターフェイスの編集 \(10 ページ\)](#) を参照してください。
- **flowcontrol** または **priority-flow-control** の設定は、HIF ポートまたはメンバーとしての HIF ポートではサポートされません。

- Cisco Cloud Services Router 1000v シリーズ (Cisco CSR 1000v シリーズ) のトンネル インターフェイスを作成します。
- ブレイクアウト ポートとアンブレイクアウト ポートを作成します。
- インターフェイスをシャットダウンして起動します。
- ポートを再検出し、インターフェイスの設定履歴を表示します。
- インターフェイスおよび vPC にホストポリシーを適用します。たとえば、`int_trunk_host`、`int_access_host` などです。
- インターフェイスの情報 (管理ステータス、動作ステータス、理由、ポリシー、速度、MTU、モード、VLAN、IP/プレフィックス、VRF、ポートチャネル、インターフェイスのネイバーなど) を表示します。



注

• [**ネイバー (Neighbor)**] 列には、検出された接続スイッチ、インテントリンク、および Virtual Machine Manager (VMM) 接続の詳細が表示されます。

[ステータス (Status)] 列に、次のいずれかのステータスが表示されます。

- 青：保留中
 - 緑：同期/成功
 - 赤：非同期/機能不全
 - 黄色：進行中
 - グレー：不明/NA
- インターフェイスがアウトオブバンドで作成された場合、このインターフェイスを削除するには、ファブリックの再同期を実行するか、構成コンプライアンスのポーリングを待機する必要があります。そうしないと、Config Compliance は正しい差分を生成しません。

ただし、ASR 9000 シリーズ ルータおよび Arista スイッチのインターフェイスを追加または編集することはできません。

特定のフィールド ([デバイス名 (Device Name)] など) の情報をフィルタリングおよび表示できます。次の表で、このページに表示されるボタンを説明します。



- (注)
- 適切な vPC ペア構成を含む、インターフェイス オプションから展開する前に、適切な構成がファブリックに展開されていることを確認します。構成をファブリックに展開する前にインターフェイスを追加または編集すると、デバイスで構成が失敗することがあります。
 - インターフェイス マネージャから構成を展開する前に、vPC ペアリングを含むアンダーレイをファブリックに展開します。

フィールド	説明
新しいインターフェイスの作成	ポート チャネル、vPC、Straight-through FEX、Active-Active FEX、ループバックなどの論理インターフェイスを追加できます。 詳細については、 インターフェイスの追加 (7 ページ) を参照してください。
新しいサブインターフェイスの作成	論理サブインターフェイスを追加できます。
インターフェイスの編集	インターフェイスに関連付けられているポリシーを編集および変更できます。
インターフェイスのプレビュー	インターフェイス構成をプレビューできます。
インターフェイスの展開	保存したインターフェイス設定を展開または再展開できます。

フィールド	説明
シャットダウン	インターフェイスをシャットダウンできます。
シャットダウンなし	インターフェイスを有効にできます（シャットダウンまたは管理起動なし）。
サブ会議	インターフェイスをブレイクアウトできます。
ブレイクアウト解除	ブレイクアウト状態のインターフェイスをブレイクアウト解除できます。
インターフェイス グループの追加	インターフェイス グループにインターフェイスを追加できます。
インターフェイスグループからの削除	インターフェイス グループからインターフェイスを削除できます。
Show コマンド	<code>interface show</code> コマンドを表示できます。 <code>show</code> コマンドを使用するには、テンプレートライブラリに <code>show</code> テンプレートが必要です。
インターフェイスの再検出	選択したインターフェイスのコンプライアンス ステータスを再検出または再計算できます。
インターフェイスの削除	[インターフェイス (Interfaces)] 画面から作成された論理インターフェイスを削除できます。オーバーレイとアンダーレイからアタッチされたポリシーを持つインターフェイスは削除できません。
展開履歴	インターフェイス展開履歴の詳細を表示できます。

次の表に、Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ リリース 11.5(1) からの【**インターフェイス (Interfaces)**】ウィンドウのホスト側ポートでの新しいユーザロール `access-admin` 操作のサポートを示します。

操作	ユーザ ロール
	Role: access-admin
新しいインターフェイスの作成	保存、プレビュー、展開
サブ会議	ブロック
ブレイクアウト解除	ブロック
インターフェイスの編集	保存、展開
インターフェイスの削除	保存、展開
シャットダウン	保存、展開

操作	ユーザ ロール
	Role: access-admin
シャットダウンなし	保存、展開
Show コマンド	出力のクリア、実行
インターフェイスの再検出	サポート対象
インターフェイスの展開	キャンセル、構成の展開

Nexusダッシュボードファブリックコントローラで展開を無効にしたり、ネットワーク管理者としてファブリックをフリーズしたりできます。ただし、ファブリックをフリーズする場合、またはファブリックがモニタモードの場合、すべてのアクションを実行することはできません。

次の表に、ファブリックをフリーズするとき、およびファブリックのモニタモードを有効にするときに実行できるアクションを示します。

操作	Nexusダッシュボードファブリックコントローラ[モード (Mode)]	
	フリーズモード	モニタモード
追加	保存、プレビュー	ブロック
サブ会議	ブロック済み	ブロック済み
ブレークアウト解除	ブロック済み	ブロック済み
編集	保存、プレビュー	ブロック
削除	保存、プレビュー	ブロック
シャットダウン	保存、プレビュー	ブロック
シャットダウンなし	保存、プレビュー	ブロック
表示	サポート対象	サポート対象
再検出	サポート対象	サポート対象
展開	ブロック済み	ブロック済み

関連付けられた操作のボタンは、それに応じてグレー表示されます。

構成プロファイルの一部である SVI で管理操作 (shutdown/no shutdown) を実行すると、連続した保存して展開操作で **no interface vlan** コマンドが生成されます。

ポリシーのない SVI の場合、管理操作の実行時、つまり **Interface Manager** から shutdown /no shutdown コマンドがプッシュされると、**int_vlan_admin_state** ポリシーが SVI に関連付けられます。

たとえば、**switch_freeform** から SVI を作成して展開します。

```
interface vlan1234
  description test
  no shutdown
  no ip redirects
  no ipv6 redirects
```

インターフェイス マネージャから SVI をシャットダウンすると、**int_vlan_admin_state** ポリシーが SVI に関連付けられます。

保留中の差分は次のように表示されます。

```
interface Vlan1234
  shutdown
  no ip redirects
  no ipv6 redirects
  description test
  no shutdown
```

自由形式の設定から **no shutdown CLI** を削除します。

ユーザが SVI で管理操作を実行した場合、デバイスには実行構成のインターフェイスがあります。したがって、ネットワーク切断後の **interface vlan** は引き続き存在し、インターフェイスが検出されます。**Interface Manager** からインターフェイスを手動で削除する必要があります。

次の表に、**[LAN] > [Interfaces] > [Interfaces]**に表示されるフィールドを示します。

フィールド	説明
Fabric Name (ファブリック名)	ファブリック名を指定します。
デバイス名 (Device Name)	デバイス名を指定します。
インターフェイス	インターフェイス名を指定します。
Admin Status	インターフェイスの管理ステータスを指定します。ステータスは [Up] または [Down] です。
oper-status	インターフェイスの操作ステータス。ステータスは [Up] または [Down] です。
理由	理由を指定します。
ポリシー	ポリシー名を指定します。
オーバーレイ ネットワーク	オーバーレイ ネットワークを指定します。
同期ステータス	同期ステータスを指定します。インターフェイスのステータスが同期中か同期外かを指定します。
インターフェイス グループ	インターフェイスが属するインターフェイス グループを指定します。
ポートチャネルID	ポートチャネル ID を指定します。

フィールド	説明
vPC ID	vPC ID を指定します。
スピード	インターフェイスの速度を指定します。
[最大伝送ユニット (MTU)]	MTU のサイズを指定します。
モード (Mode)	インターフェイス モードを指定します。
VLAN	VLAN を設定します。
IP/プレフィックス	インターフェイスの IP/プレフィックスを指定します。
VRF	仮想ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンス
ネイバー	インターフェイス ネイバーを指定します。
説明	インターフェイスの説明を指定します。

インターフェイスの追加

Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UIからインターフェイスを追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。
- ステップ 2** 論理インターフェイスを追加するには、[アクション (Actions)]>[新しいインターフェイスの作成 (Create new interface)]をクリックします。
- [新しいインターフェイス (New Interfaces)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [Type] ドロップダウンリストから、インターフェイス タイプを選択します。
- 有効な値は、ポートチャネル、仮想ポートチャネル (vPC) 、ストレート (ST) FEX、アクティブ-アクティブ (AA) FEX、ループバック、サブインターフェイス、トンネルイーサネット、およびスイッチ仮想インターフェイス (SVI) です。インターフェイスタイプを選択すると、それぞれのインターフェイス ID フィールドが表示されます。
- Nexusダッシュボードファブリック コントローラ を通じてポート チャネルを作成する場合は、同じ速度のインターフェイスを追加します。さまざまな速度のインターフェイスから作成されたポートチャネルは起動しません。たとえば、2つの10ギガビットイーサネットポートを持つポートチャネルが有効です。ただし、10ギガビットイーサネット + 25ギガビットイーサネットポートの組み合わせを持つポートチャネルは無効です。

- vPC ホストを追加するには、ファブリック トポロジで vPC スイッチを指定し、**[展開の保存 (Save Deploy)]** オプションを使用して vPC およびピアリンク構成を展開する必要があります。vPC ペアの設定が展開されると、**[vPC ペアの選択 (Select a vPC pair)]** ドロップダウン ボックスに表示されます。

int_vpc_trunk_host ポリシーを使用して vPC を作成できます。

- サブインターフェイスを追加する場合は、**[追加 (Add)]** ボタンをクリックする前に、インターフェイス テーブルからルーテッドインターフェイスを選択する必要があります。
- **[インターフェイス (Interface)]** ウィンドウでイーサネット インターフェイスを事前プロビジョニングできます。この事前プロビジョニング機能は、Easy、eBGP、および外部ファブリックでサポートされています。

ステップ 4 **[デバイス タイプの選択 (Select device type)]** フィールドで、デバイスを選択します。

デバイスは、ファブリックおよびインターフェイスタイプに基づいてリストされます。外部ファブリック デバイスは、ST FEX および AA FEX には表示されません。vPC またはアクティブからアクティブ FEX の場合は、vPC スイッチペアを選択します。

ステップ 5 選択したインターフェイスに基づいて、表示される各インターフェイス ID フィールド (**ポートチャネル ID**、**vPC ID**、**ループバック ID**、**トンネル ID**、**インターフェイス名**、**VLAN ID**、および**サブインターフェイス ID**) に ID 値を入力します。

この値は上書きできます。新しい値は、リソース マネージャ プールで使用可能な場合にのみ使用されます。それ以外の場合は、エラーになります。

ステップ 6 **[ポリシー (Policy)]** フィールドで、インターフェイスに適用するポリシーを選択します。

このフィールドには、インターフェイスのタイプに基づいてフィルタリングされた、*interface interface_edit_policy* のインターフェイス Python ポリシーのみが表示されます。

_upg インターフェイス ポリシーを作成しないでください。たとえば、**vpc_trunk_host_upg**、**port_channel_aa_fex_upg**、**port_channel_trunk_host_upg**、および **trunk_host_upg** オプションを使用してポリシーを作成することはできません。

- (注) ポリシーは、**[タイプ (Type)]** ドロップダウン リストで選択したインターフェイスタイプと、**[デバイスの選択 (Select a device)]** ドロップダウン リストで選択したデバイスに基づいてフィルタリングされます。

ステップ 7 **[ポリシー オプション (Policy Options)]** の必須フィールドに値を入力します。

フィールドは、選択したインターフェイスタイプによって異なります。

- (注) Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Release 11.5(1) 以降では、vPC の作成時に Peer-1 の設定を Peer-2 にミラーリングできます。**[構成ミラーリングの有効化 (Enable Config Mirroring)]** チェックボックスをオンにすると、**[Peer-2]** フィールドがグレー表示されます。**[Peer-1]** フィールドに入力した設定は、**[Peer-2]** フィールドにコピーされます。

ステップ 8 **[保存 (Save)]** をクリックして、設定を保存します。

(注) インターフェイスに QoS ポリシーを適用するには、参照を使用してインターフェイスの自由形式を作成します。

保存された設定のみがデバイスにプッシュされます。インターフェイスの追加中は、最初の保存後にのみポリシー属性を変更できます。すでに使用されている ID を使用しようとする、リソースが割り当てられないというエラーが発生します。

ステップ 9 (任意) [プレビュー (Preview)] オプションをクリックして、展開する構成をプレビューします。

ステップ 10 [展開 (Deploy)] をクリックして、指定した論理インターフェイスを展開します。

新しく追加したインターフェイスが画面に表示されます。

ブレイクアウトとブレイクアウト解除：ブレイクアウトとブレイクアウト解除 オプションを使用して、インターフェイスをブレイクアウトおよびブレイクアウト解除できます。

サブ会議

[ブレイクアウト (Breakout)] アイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックして、使用可能なブレイクアウトオプションのリストを表示します。使用可能なオプションは、**10g-4x**、**25g-4x**、**50g-2x**、**50g-4x**、**100g-2x**、**100g-4x**、**200g-2x**、および **Unbreakout** です。必要なオプションを選択します。

インターフェイスの編集

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からインターフェイスを編集するには、次の手順を実行します。



(注) [インターフェイスの編集 (Edit interface)] では、ポリシーを変更したり、ポートチャネルまたは vPC からインターフェイスを追加または削除したりできます。

手順

ステップ 1 [LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] の順に選択します。

[アクション (Actions)] メニューの [ブレイクアウト (breakout)] オプションを使用して、インターフェイスをブレイクアウトおよびブレイクアウト解除できます。

ステップ 2 インターフェイスまたは vPC を編集するには、インターフェイス チェックボックスをオンにします。

複数のインターフェイスを編集するには、対応するチェックボックスをオンにします。複数のポートチャネルおよびvPCを編集することはできません。異なるタイプのインターフェイスを同時に編集することはできません。

ステップ 3 インターフェイスを編集するには、[アクション (Actions)] > [インターフェイスの編集 (Edit interface)] をクリックします。

[インターフェイスの編集 (Edit interface)] ウィンドウに表示される変数は、テンプレートとそのポリシーに基づいています。適切なポリシーを選択します。ポリシーを保存し、同じものを展開します。このウィンドウには、インターフェイスの種類に基づいてフィルタリングされた、`interface_edit_policy` タグが付いたインターフェイス Python ポリシーのみが表示されます。

vPC のセットアップでは、2つのスイッチは、編集ウィンドウに表示されるスイッチ名の順序になります。たとえば、スイッチ名が `LEAF1:LEAF2` と表示されている場合、Leaf1 はピアスイッチ 1、Leaf2 はピアスイッチ 2です。

スイッチへのオーバーレイ ネットワークの展開中に、ネットワークをトランク インターフェイスに関連付けることができます。トランク インターフェイスとネットワークの関連付けは、[インターフェイス (Interfaces)] タブに反映されます。このようなインターフェイスを更新できます。

[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)] > [インターフェイス (Interfaces)] 画面から作成されていないインターフェイスポリシーの場合、一部の設定を編集できますが、ポリシー自体は変更できません。編集できないポリシーとフィールドはグレー表示されます。

次に、編集できないポリシーの例を示します。

- ループバック インターフェイス ポリシー : `int_fabric_loopback` ポリシーは、ループバック インターフェイスを作成するために使用されます。ループバック IP アドレスと説明は編集できますが、`int_fabric_loopback` ポリシー インスタンスは編集できません。
- ファブリック アンダーレイ ネットワーク インターフェイス ポリシー (`int_fabric_num` など) およびファブリック オーバーレイ ネットワーク インターフェイス (NVE) ポリシー。
- vPC に関連付けられたポートチャネルおよびメンバーポートを含む、ポートチャネルおよびポートチャネルのメンバーポートに関連付けられたポリシー。
- ネットワークおよび VRF の作成時に作成された SVI。関連付けられた VLAN がインターフェイス リストに表示されます。

リンクに関連付けられたインターフェイスの編集

リンクには、ファブリック内リンクとファブリック間リンクの2種類があります。名前が示すように、ファブリック内リンクは同じ Easy ファブリック内のデバイス間に設定され、通常はスパインリーフ接続に使用されます。ファブリック間リンクは、Easy ファブリックと、通常は他の外部または Easy ファブリック間に設定されます。外部 WAN や DC I 接続に使用されます。ポリシーは、リンクの両端に適用される設定を効果的に示す各リンクに関連付けられます。つまり、リンクポリシーは、リンクを形成する2つのインターフェイスに関連付けられた

個々の子インターフェイス ポリシーの親になります。このシナリオでは、リンク ポリシーを編集して、説明、IPアドレス、インターフェイスごとの自由形式の設定などのインターフェイス ポリシー フィールドを編集する必要があります。次の手順は、リンクに関連付けられたインターフェイスを編集する方法を示しています。

手順

-
- ステップ 1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。
 - ステップ 2 リンクを選択し、[アクション (Actions)]>[詳細 (More)]>[インターフェイスの再検出 (Rediscover Interface)]の順にクリックします。
-

インターフェイスの削除

Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI からインターフェイスを削除するには、次の手順を実行します。



- (注) このオプションを使用すると、論理ポート、ポート チャネル、および vPC のみを削除できません。オーバーレイまたはアンダーレイ ポリシーがアタッチされていない場合は、インターフェイスを削除できます。

ポートチャネルまたはvPCが削除されると、対応するメンバーポートにデフォルトのポリシーが関連付けられます。デフォルト ポリシーは、server.properties ファイルで設定できます。

手順

-
- ステップ 1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。
 - ステップ 2 インターフェイスを選択します。
 - ステップ 3 [アクション (Actions)]>[詳細 (More)]>[インターフェイスの削除 (Delete Interface)]の順にクリックします。
ファブリック アンダーレイで作成された論理インターフェイスは削除できません。
 - ステップ 4 [Save (保存)]をクリックします。
 - ステップ 5 [展開 (Deploy)]をクリックして、インターフェイスを削除します。
-

インターフェイスのシャットダウンと起動

Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI からインターフェイスをシャットダウンして起動するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。

ステップ 2 シャットダウンまたは起動するインターフェイスを選択します。

ステップ 3 [シャットダウン (Shutdown)]をクリックして、選択したインターフェイスを無効にします。たとえば、ネットワークからホストを分離したり、ネットワーク内でアクティブでないホストを分離したりできます。

変更を保存、プレビュー、および展開できる確認ウィンドウが表示されます。[保存 (Save)]をクリックして、変更の展開をプレビューします。

ステップ 4 [シャットダウンなし (No Shutdown)]をクリックして、選択したインターフェイスを起動します。

変更を保存、プレビュー、および展開できる確認ウィンドウが表示されます。[保存 (Save)]をクリックして、変更をプレビューまたは展開します。

インターフェイス構成の表示

Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI からインターフェイス構成コマンドを表示して実行するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。

設定を表示するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)]>[詳細 (More)]>[表示コマンド (Show commands)]をクリックします。

ステップ 2 [インターフェイス表示コマンド (Interface show commands)] ウィンドウで、[コマンド (Commands)] ドロップダウン ボックスからアクションを選択し、[実行 (Execute)] をクリックします。インターフェイス設定が画面の右側に表示されます。

Showコマンドの場合は、インターフェイスで対応する **show** テンプレート、またはポートチャネルや vPC などのインターフェイス サブタイプをテンプレートで定義する必要があります。

インターフェイスの再検出

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からインターフェイスを再検出するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。
- ステップ2 再検出するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)]>[詳細 (More)]>[インターフェイスの再検出 (Rediscover Interface)]の順にクリックして、選択したインターフェイスを再検出します。たとえば、インターフェイスを編集または有効にした後、インターフェイスを再検出できます。

インターフェイス履歴の表示

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からインターフェイス履歴を表示するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]を選択します。
- ステップ2 インターフェイスを選択し、[アクション (Actions)]、[詳細 (More)]、[Deployer 履歴 (Deployer History)]の順にクリックして、インターフェイスの設定履歴を表示します。
- ステップ3 [ステータス (Status)]をクリックして、その構成インスタンスに設定されている各コマンドを表示します。

インターフェイス構成の展開

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からインターフェイス構成を展開するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイス (Interfaces)]の順に選択します。

ステップ2 展開するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)] > [インターフェイスの展開 (Deploy Interfaces)] をクリックして、インターフェイスに保存されている設定を展開または再展開します。

(注) 複数のインターフェイスを選択し、保留中の設定を展開できます。

インターフェイス設定を展開すると、インターフェイスステータス情報が更新されます。ただし、全体的なスイッチレベルの状態は保留状態 (青色) になることがあります。インターフェイス、リンク、ポリシーテンプレートの更新、トップダウンなどのいずれかのモジュールからインテントが変更されると、スイッチレベルの全体的な状態は保留状態になります。保留状態では、スイッチに保留中の設定またはスイッチレベルの再計算がある場合があります。スイッチレベルの再計算は、次の場合に発生します。

- スイッチに展開する
- 展開中
- 毎時同期中

外部ファブリック インターフェイスの作成

外部ファブリック デバイスのポートチャネル、vPC、サブインターフェイス、およびループバック インターフェイスを追加および編集できます。ストレート FEX およびアクティブ-アクティブ FEX 機能は追加できません。

ブレイクアウト ポート機能は、外部ファブリックの Cisco Nexus 9000、3000、および 7000 シリーズ スイッチでのみサポートされます。

外部ファブリック デバイスにインターフェイスを追加すると、リソース マネージャはデバイスと同期しません。そのため、ID フィールドに入力された値 (ポートチャネル ID、vPC ID、ループバック ID など) がスイッチで事前に設定されていないことを確認します。

外部ファブリックでポートチャネルを設定する場合は、ポートチャネルが設定されるスイッチに **feature_lacp** ポリシーを追加して展開する必要があります。

外部ファブリックが [ファブリック モニタ モードのみ (Fabric Monitor Mode Only)] に設定されている場合は、そのスイッチに設定を展開できません。ファブリック トポロジ画面で [保存して展開 (Save & Deploy)] をクリックすると、エラーメッセージが表示されます。ただし、次の設定 (スイッチアイコンを右クリックすると使用可能) が許可されます。

vPC ペアリング : vPC スイッチ ペアを指定できますが、これは参照用です。

ポリシーの表示/編集 : ポリシーを追加できますが、スイッチに展開することはできません。

インターフェイスの管理 : インターフェイスを追加する目的のみを作成できます。インターフェイスを展開、編集、または削除しようとする、エラーメッセージが表示されます。

インターフェイスグループ

ファブリック レベルでホスト側のインターフェイスをグループ化できるインターフェイスグループを作成できます。具体的には、物理イーサネットインターフェイス、L2ポートチャネル、およびvPCのインターフェイスグループを作成できます。インターフェイスグループのインターフェイスに複数のオーバーレイネットワークを接続または接続解除できます。

ガイドライン

- インターフェイスグループは、**Easy_Fabric** テンプレートを使用するファブリックでのみサポートされます。
- インターフェイスグループは、ファブリックに固有です。たとえば、2つのファブリック (Fab1 と Fabric 2) を考えます。Fab1 のインターフェイスグループ IG1 は、Fab 2 には適用されません。
- インターフェイスグループは、特定のタイプのインターフェイスのみを持つことができます。たとえば、物理イーサネット トランク インターフェイスの場合は IG1、L2 トランクポートチャネルの場合は IG2、vPC ホスト トランク ポートの場合は IG3 など、3つのタイプのインターフェイスをグループ化する場合は、3つの個別のインターフェイスグループが必要です。
- インターフェイスグループは、事前プロビジョニングされたインターフェイスを使用して作成することもできます。
- インターフェイスグループは、リーフロールを持つスイッチに限定されます。これらは、Border、BGW、およびその他の関連バリエーションなどの他のロールではサポートされません。
- インターフェイスグループの一部であるL2ポートチャネルおよびvPCの場合、インターフェイスグループに関連付けられているネットワークがない場合でも、それらはインターフェイスグループから関連付け解除されるまで削除できません。同様に、オーバーレイネットワークを持たないがIGの一部であるトランクポートは、アクセスポートに変換できません。つまり、インターフェイスグループの一部であるインターフェイスのポリシーは変更できません。ただし、ポリシーの特定のフィールドは編集できます。
- リーフスイッチのL4~L7サービス設定では、サービス接続に使用されるトランクポートをインターフェイスグループの一部にすることはできません。
- イージーファブリックのファブリック単位のバックアップを実行すると、そのファブリックで作成されたインターフェイスグループがある場合、関連するすべてのインターフェイスグループの状態がバックアップされます。
- イージーファブリックにインターフェイスグループが含まれている場合、このファブリックはMSOにインポートできません。同様に、イージーファブリックがMSOに追加されている場合は、イージーファブリック内のスイッチに属するインターフェイスのインターフェイスグループを作成できません。

- [インターフェイスグループ (Interface Group)] ボタンは、管理者およびステージャユーザに対してのみ有効です。他のすべてのユーザの場合、このボタンは無効になります。
- [インターフェイスグループ (Interface Group)] ボタンは、次の状況では無効になります。
 - [SCOPE] ドロップダウンリストから [データセンター (Data Center)] を選択します。
 - スイッチのないファブリックを選択します。
 - vPC、ポートチャネル、およびイーサネット以外の他のインターフェイスを選択します。
 - インターフェイスに別の送信元からのポリシーがアタッチされている場合：
 - インターフェイスがポートチャネルまたはvPCのメンバーである場合。
 - ポートチャネルがvPCのメンバーである場合。
 - インターフェイスにアンダーレイまたはリンクからのポリシーがある場合。



注 異なるタイプのインターフェイスを選択すると、[インターフェイスグループ (Interface Group)] ボタンが有効になります。ただし、インターフェイスグループに対して異なるタイプのインターフェイスを作成または保存しようとする、エラーが表示されます。

インターフェイスグループの作成

手順

- ステップ 1** [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)]>[インターフェイスグループ (Interface Groups)] の順に選択します。
- ステップ 2** [アクション (Actions)]>[新しいインターフェイスグループの作成 (Create new interface group)] をクリックします。
- ステップ 3** [ファブリックの選択 (Select Fabric)] ウィンドウで、ファブリックを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。
- ステップ 4** [新しいインターフェイスグループの作成 (Create new interface group)] ウィンドウで、[インターフェイスグループ名 (Interface Group Name)] フィールドにインターフェイスグループ名を入力し、インターフェイスタイプを選択して、[保存 (Save)] をクリックします。

インターフェイスグループ名の最大長は 64 文字です。

(注) インターフェイスは、1つのインターフェイスグループにのみ属することができます。

ステップ 5 [インターフェイス (Interfaces)] タブをクリックします。

ステップ 6 グループ化する必要があるインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)]>[インターフェイスグループに追加 (Add to interface Group)] をクリックします。

ステップ 7 [インターフェイス グループの編集 (Edit Interface Group)] ウィンドウで、[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] フィールドにインターフェイスグループ名を入力してカスタムインターフェイスグループを作成し、[カスタムの作成 (Create custom)] をクリックします。

すでにインターフェイスグループを作成している場合は、[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] ドロップダウンリストから選択します。また、インターフェイスがすでにインターフェイスグループの一部である場合は、[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] ドロップダウンリストから新しいグループを選択することで、そのインターフェイスを別のインターフェイスグループに移動できます。

インターフェイスグループは、[インターフェイスグループ (Interfaces Groups)] ウィンドウまたは [ファブリックの概要] の [インターフェイス (Interfaces)] ウィンドウから作成できます。

ステップ 8 [Save (保存)] をクリックします。

[インターフェイス (Interfaces)] ウィンドウの [インターフェイスグループ (Interfaces Groups)] 列にインターフェイスグループ名が表示されます。

インターフェイスグループからのインターフェイスの削除

手順

ステップ 1 [LAN]>[インターフェイス (Interfaces)] の順に選択します。

ステップ 2 インターフェイスグループから関連付けを解除するインターフェイスを選択し、[アクション (Actions)]>[インターフェイスグループから削除 (Remove from interface Group)] をクリックします。

ステップ 3 [インターフェイスグループの編集 (Edit Interface Group)] ウィンドウで、[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] ドロップダウンリストで何も選択されていないことを確認し、[クリア (Clear)] をクリックします。

関連付けられたすべてのインターフェイスをクリアするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。[はい (Yes)] をクリックして続行します。これらのインターフェイスに接続されているネットワークがある場合、[クリア (Clear)] をクリックすると、それらのネットワークも切断されます。

インターフェイスグループへのネットワークの接続

手順

ステップ1 ファブリックをダブルクリックして、[ファブリックの概要 (Fabric Overview)] を起動します。

ステップ2 [ネットワーク (Networks)] タブで、インターフェイスグループに接続する必要があるネットワークを選択し、[インターフェイスグループ (Interface Group)] をクリックします。

- (注)
- オーバーレイ ネットワークは、複数のインターフェイスグループに属することができます。
 - VLAN ID を持つネットワークのみを選択できます。それ以外の場合は、適切なエラーメッセージが表示されます。

ステップ3 [インターフェイスグループ (Interface Groups)] ウィンドウで、次の操作を実行できます。

- [インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] ドロップダウンリストから既存のインターフェイスグループを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。

たとえば、3つのネットワークとインターフェイスグループ **test** を選択し、[保存 (Save)] ボタンをクリックすると、次の操作がバックグラウンドで実行されます。

1. Nexusダッシュボードファブリックコントローラは、インターフェイスグループ **test** の一部であるインターフェイスを取得します。
2. Nexusダッシュボードファブリックコントローラは、3つのネットワークがインターフェイスグループ **test** に追加されることを決定します。したがって、これらのネットワークは、インターフェイスグループ **test** の一部であるすべてのインターフェイスに自動接続されます。
3. インターフェイスごとに、Nexusダッシュボードファブリックコントローラは、選択したネットワークごとに「**switchport trunk allowed vlan add xxxx**」コマンドを3回プッシュします。

- (注) Nexusダッシュボードファブリックコントローラは、重複する構成インテントがないことを保証します。

[クリア (Clear)] ボタンをクリックすると、Nexusダッシュボードファブリックコントローラにより「**switchport trunk allowed vlan remove xxx**」構成インテントがプッシュされます。

- [インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)] フィールドにインターフェイスグループ名を入力してカスタムインターフェイスグループを作成し、[カスタムの作成 (Create custom)] をクリックします。[Save (保存)] をクリックします。

このオプションを選択する場合は、**[インターフェイス (Interfaces)]** ウィンドウでこのインターフェイス グループにインターフェイスを追加してください。その結果、Nexusダッシュボードファブリック コントローラ は次の操作を実行します。

1. インターフェイス グループに属していない既存のすべてのオーバーレイ ネットワークをこれらのインターフェイスから削除します。
2. インターフェイス グループの一部であるが、まだこれらのインターフェイスに接続されていない新しいオーバーレイ ネットワークを追加します。

インターフェイスグループへのインターフェイスの関連付けの詳細については、[インターフェイスグループの作成 \(16 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 4 **[続行 (Continue)]** をクリックし、**[保存して展開 (Save & Deploy)]** をクリックして、選択したネットワークをスイッチに展開します。

インターフェイス グループからのネットワークの接続解除

この手順では、**[ネットワーク (Networks)]** ウィンドウでインターフェイスグループからネットワークの接続を解除する方法を示します。また、**[インターフェイス (Interfaces)]** ウィンドウでインターフェイスグループからインターフェイスを削除すると、ネットワークの接続を解除できます。詳細については、「[インターフェイスグループからのインターフェイスの削除](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1** ファブリックをダブルクリックして、**[ファブリックの概要 (Fabric Overview)]** を起動します。
- ステップ 2** **[ネットワーク (Networks)]** タブで、インターフェイスグループに接続する必要があるネットワークを選択し、**[インターフェイスグループ (Interface Group)]** をクリックします。
- ステップ 3** **[インターフェイスグループ (Interface Group)]** ウィンドウで、**[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)]** ドロップダウンリストからインターフェイスグループを選択し、**[クリア (Clear)]** をクリックしてネットワークの接続を解除します。
- ステップ 4** (任意) **[LAN] > [インターフェイス (Interfaces)]** に移動します。
[オーバーレイ ネットワーク (Overlay Network)] 列の下に、対応するインターフェイスの未接続ネットワークが赤色で表示されます。ネットワークをクリックすると、取り消し線が引かれた設定が表示されます。
- ステップ 5** **[ネットワーク (Network)]** 画面に移動します。**[ファブリック アクション (Fabrics Actions)]** ドロップダウンリストから、**[構成の展開 (Deploy Config)]** を選択します。

インターフェイス グループの削除

インターフェイスグループは、使用されていない場合は自動的に削除されます。インターフェイスグループにマッピングされたインターフェイスおよびネットワークがない場合、Nexus ダッシュボードファブリック コントローラはインターフェイスグループの暗黙的な削除を実行します。このチェックは、**[インターフェイスグループの編集 (Edit Interface Group)]** ウィンドウで **[クリア (Clear)]** ボタンをクリックするたびに実行されます。インターフェイスグループを明示的にクリーンアップする必要がある例外シナリオが存在する場合があります。

たとえば、インターフェイスグループ **storageIG** を作成し、それにインターフェイスを追加します。後で、インターフェイス マッピングを別のグループに変更します。したがって、インターフェイスを選択し、**[インターフェイスグループ (Interface Group)]** をクリックして **[インターフェイスグループの編集 (Edit Interface Group)]** ウィンドウを開きます。 **diskIG** という名前の別のインターフェイスグループを選択します。現在、**storageIG** インターフェイスグループには、関連付けられているメンバー インターフェイスまたはネットワークがありません。この場合は、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 インターフェイスグループに属していないインターフェイスを選択します。
 - ステップ2 インターフェイスを選択し、**[インターフェイスグループ (Interface Group)]** をクリックして **[インターフェイスグループの編集 (Edit Interface Group)]** ウィンドウを開きます。
 - ステップ3 **[インターフェイスグループの選択 (Select Interface Group)]** ドロップダウン リストから **StorageIG** インターフェイスグループを選択します。
 - ステップ4 **[Clear]** をクリックします。
-